

三芳町町制施行 50 周年 記念式典



いいね「♥」三芳町。

令和4年3月26日(土)

文化会館 コピスみよし

式典次第

【第一部】

- 1 オープニングセレモニー
- 2 開式のことば
- 3 国歌独唱
- 4 式辞
- 5 挨拶
- 6 来賓祝辞
- 7 来賓紹介
- 8 町表彰・町制施行50周年特別表彰授与
- 9 町制施行 50 周年記念動画

—— 休憩 ——

【第二部】

- 10 和太鼓パフォーマンス
- 11 みよし SDG sアワード
- 12 三芳町ふるさと大使任命
- 13 50周年記念特別プログラム
- 14 閉式のことば

演目

【オープニングセレモニー】

- **ピアノ演奏** ショパン ワルツ第5番「大円舞曲」
岩井 亜咲
- **竹間沢車人形** 「寿式三番叟」
前田 益夫

【町制施行 50 周年記念動画】

- **弾き語り** 「Future and hope みよしの未来」
TAON

【和太鼓パフォーマンス】

- **和太鼓演奏**
鷹 -TAKA-

【50 周年記念特別プログラム】

- **ホルン & ピアノ演奏** アストル・ピアソラ 「オブリヴィオン」
高橋 臣宜 (ホルン)、岩井 亜咲 (ピアノ)
- **弦楽四重奏** ドヴォルザーク 弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」
ザ・シンフォニエッタみよし弦楽四重奏団 [川田 知子 (ヴァイオリン)、高瀬 真由子 (ヴァイオリン)、加藤 大輔 (ヴィオラ)、黒川 美咲 (チェロ)]

演者紹介 (敬称略)

Asaki Iwai
岩井 亜咲

Profile

三芳町在住。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学在学中。第18回ショパン国際ピアノコンクール本大会に出場。これに先駆けてコピスみよしで特別リサイタルを実施し住民に感動を届けた。



Masuo Maeda
前田 益夫

Profile

三芳町生まれ。町指定無形文化財「竹間沢車人形」4代目家元。江戸時代末期に伝わった車人形は大正時代に公演が絶えていたが、前田氏が昭和47年に復活公演を行い、約50年にわたり継承し続ける。



TAON

Profile

シンガーソングライター、ご当地ソング歌手。2020年、埼玉県生誕150周年を祝い、県内63市町村すべてのご当地ソングを作成。三芳町のご当地ソング「Future and hope みよしの未来」の英語 ver. も作成。



鷹 -TAKA-

Profile

三芳町在住。和太鼓奏者・三味線奏者・書道家。世界和太鼓打ち比ベコンテストで優勝、文部科学大臣賞受賞。和太鼓チーム「暁」のリーダーで、東京2020五輪の聖火リレーでは沿道での和太鼓演奏とランナーを務めた。



Takanori Takahashi
高橋 臣宜

Profile

山形県出身、三芳町在住。父が聞いていたビートルズやジャズから音楽に興味を持つようになり、中学校でホルンに出会う。ザ・シンフォニエッタみよしのメンバー。ホルンと車と三芳町をこよなく愛す。



The Sinfonietta Miyoshi string quartet
ザ・シンフォニエッタみよし弦楽四重奏団

Profile

“史上最響”の呼び声高いコピスみよしの室内オーケストラ「ザ・シンフォニエッタみよし」から特別編成された弦楽四重奏団。第1ヴァイオリン：川田知子(前)、第2ヴァイオリン：高瀬真由子(右)、ヴィオラ：加藤大輔(後)、チェロ：黒川美咲(左)。





～三芳町功勞表彰～ 49名、4団体（順不同、敬称略、重複あり）

【地方自治功勞】

山田 明
吉田 直哉
井田 和宏
久保 健二
小松 伸介
増田 磨美
筋野 哲也
横田 英明
池上 善一
仲野 忠男
伊藤 敏彦
日下部 辰男
西澤 一廣

【社会福祉功勞】

鈴木 理市

【スポーツ活動功勞】

石橋 茜
酒井 藍莉
吉田 璃乃
川野 博大

【生活環境・保健衛生功勞】

江川 禎一
湯澤 正澄

【産業功勞】

清水 武雄
細沼 英一

【消防活動功勞】

浅沼 克己
池上 太一郎

江原 晃※

久保 達人
武田 崇

田村 明裕

池上 友和

塩野 貢市

島田 悟

嶋村 大介

高橋 敦士

武田 洋一

【篤志表彰】

株式会社 TKC

【教育文化功勞】

鈴木 信之

木村 正和

佐藤 裕樹

梶田 吉久

荒田 博之

三芳町文化協会

三芳町体育協会

三芳町立唐沢小学校 学校応援団

【交通安全功勞】

井田 徹

落合 利也

小泉 高行

田村 晃一

山田 宏哉

忽滑谷 昌弘

松木 智子



～三芳町感謝状～ 40名、1団体（順不同、敬称略）

浅沼 修治

齊藤 孝

渋谷 正昭

高木 久雄

田中 好明

富岡 誠

早川 光男

伊東 佳孝

大野 勝巳

荻島 和彦

荻原 健司

栗原 鎮

小山 肇

清水 邦宏

鈴木 明

高橋 寛

田村 裕昭

早津 明子

松尾 和己

鈴木 信之

青木 智

落合 隼平

櫻井 美由紀

西井 さやか

坂井 勝径

細谷 健太郎

門田 佳昭

荻島 義弘

奥宮 俊祐

小島 光夫

佐藤 和明

高橋 すみ子

新田 博行

森田 和彦

山本 健二

横田 英明

阿部 圭子

坂井 房子

山崎 百恵

村石 抖詠子※

フルカワ電設株式会社



～三芳町 50 周年特別表彰～ 16名、37団体（順不同、敬称略）

塩野 英男

前島 敏雄

高波 美鈴

西内 一夫

前田 益夫

西内 利夫

山根 泰雄

伊東 藏衛

長谷川 泰雄

上島 三介

向吉 孝子

犬井 正

進士 五十八

田村 憲司

松本 聡

野瀬 英豪

空風流

三芳町 4H クラブ

三芳医会

視覚障がい者の会 ひとみ

三芳町手をつなぐ親の会

三芳町朗読ボランティアの会 けやき

三芳町ボランティア連絡会

三芳町男女共同参画推進会議

大崎電気工業㈱ハンドボール部 OSAKI OSOL

点訳サークル「とんとん」

三芳町協働のまちづくりネットワーク

みよしグリーンサポート隊

三富落ち葉野菜研究グループ

三芳町川越いも振興会

三芳町農業経営研究会

みよし野菜ブランド化推進研究会

東入間交通安全協会三芳支部

三芳町こころの健康づくりをすすめる会

三芳町交通安全母の会

三芳町災害対策協力会

学校応援団 よむよむポケット

読み聞かせボランティア モモ

三芳手話サークル

竹間沢ほたる育成会

藤久保第3区自主防災会

三芳町茶業研究会

三芳町消防団

三芳町体育協会

三芳町文化協会

竹間沢車人形保存会

竹間沢里神楽保存会

藤久保芸能会

竹間沢共楽会

北永井囃子保存会

上富囃子保存会

淑徳大学

みらいくん

※は故人を表しています。



～三芳町技能功勞表彰～ 20名（順不同、敬称略）

金子 侑子

塩野 正巳

稲垣 和彦

荻原 章弘

金谷 浩※

齊藤 孝

瀬島 吉明

武田 修二

田村 賢治

忽滑谷 一夫

長谷川 清行

林 宗治

三上 芳邦

皆川 浩

森田 輝男

森田 政久

鈴木 孝児

矢島 悦男

鈴木 昌夫

山田 剛

みよしSDGsアワード



みよしSDGsアワードは、三芳町が持続可能なまちづくりを進めていく中で、「みよしSDGs宣言」に応募いただいた35団体の中から、特に優れた取り組みを行う団体を表彰するものです。SDGsの取り組みの模範となり、大きな推進力となることを期待します。

明石農園

代表 明石 誠一

農業・肥料を使わない自然栽培を行いながら、農業福祉連携に取り組み、障がいのある人たちとともに得意分野の生かせる場所づくりを行い、多様性・共生社会という視点で活動されています。そのような活動が、ドキュメンタリー映画「お百姓さんになりたい」に取り上げられるなど、地域活性化に貢献されていることが高く評価され受賞されました。



石坂産業株式会社

代表取締役 石坂 典子

ごみゼロ社会の実現を目指し、町内企業の模範となる取組を行っております。三富今昔村や工場見学をはじめとした、体験型環境教育の普及により、地域力の向上並びに社会の変容にいち早く取り組み、特に環境・社会・経済の分野における目標達成に向かっていくことが高く評価され受賞されました。



大崎電気工業株式会社 埼玉事業所

常務執行役員 生産本部長 島山 淳実

平成26年度より協働事業として、みよし大崎ジュニアハンドボールを結成。スポーツを通して健康や活力の向上はもちろん、三芳町の子供たちの学びの場を提供しています。将来を担う子供たちへの取り組みが高く評価され受賞されました。



三芳町川越いも振興会

会長 早川 忠男

320年前から伝わる持続可能な循環型農法を実践されており、平地林の保全や落ち葉の堆肥化に基づく農法は生物多様性を育むことにも貢献されています。また、日本農業遺産にも認定されており、低炭素社会・環境保全型社会・自然共生社会を実現されていることが高く評価され受賞されました。



特定非営利活動法人れでいばーど

代表理事 飯塚 結花

三芳おなか子ども食堂の運営を通して、「つながり」をみつけられる居場所を提供し、フードロス対策や子育てしやすい地域づくりに向けた貢献が高く評価され受賞されました。



三芳町ふるさと大使

各分野で活躍する三芳町にゆかりのある方々をふるさと大使に任命します。

大使には、町のPRや高い見識によるまちづくりへの助言をいただくと共に、町も応援団として活動の応援支援を行います。

▼三芳町ふるさと大使任命者 7名、1団体（敬称略）

Eji Arai 荒井 英治

Profile

新星日本交響楽団、東京交響楽団を経て東京フィルハーモニー交響楽団のソロ・コンサートマスターを務めた、日本を代表するバイオリニスト。2014年にプロ・オーケストラ「ザ・シンフォニエッタみよし」を立ち上げた。



Eigo Nose 野瀬 英豪

Profile

淑徳大学女子柔道部監督。選手時代に全日本選手権や国際大会など、数多くの大会で優勝経験を持つ。現在、全日本のジュニアヘッドコーチを務め、三芳町のオランダ女子柔道チームホストタウン登録に尽力した。



Hiroki Motoki 元木 博紀

Profile

三芳町在住。OSAKI OSOLのサウスボーエース。豊富なシュートバリエーションやスピードに定評がある。東京2020五輪のハンドボール日本代表選手として出場し、五輪日本ハンドボール勢の33年ぶりの勝利に貢献した。



The Sinfonietta Miyoshi ザ・シンフォニエッタみよし

Profile

2014年に国内外のプロオーケストラの首席奏者らが、楽団の垣根を越えて集まり結成。これまでに町内の児童生徒へのアウトリーチ活動やコピスみよしでの特別講演などを行う。



※プロフィールはP2の下部をご参照ください。



※プロフィールはP1の下部をご参照ください。



※プロフィールはP2の下部をご参照ください。



※プロフィールはP1の下部をご参照ください。

三芳町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界的に気温の上昇や豪雨・洪水等の深刻な自然災害が多発しています。また、国内各地においても、台風や豪雨により甚大な被害が発生しています。今後も地球温暖化の進行に伴い、さらなる頻発化、激甚化が予想されており、生命や財産のみならず、人類やすべての生き物の生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われるほど、極めて深刻な事態となっています。

こうした状況の中、2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温の上昇を、産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」とされ、2018年に公表されたIPCC「国連の気候変動に関する政府間パネル」の特別報告書においては、この目標を達成するために、「2050年までに、二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

日本においては、これらの目標の達成に向け、2020年に、「2050年までに 温室効果ガスの排出量をゼロにし、脱炭素社会の実現を目指す」との政府方針が示されました。

こうした国内外の動向を踏まえると、SDGsの理念に基づき持続可能なまちづくりを目指す当町においても、町民・事業者・行政が協働して、脱炭素社会の実現に向け取り組んでいくことが不可欠です。

このことから、将来にわたり、「安心・安全な暮らし」と、「みどり豊かなふるさと三芳町」を守るために、2050年までに「二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指すことを宣言します。

令和4年3月26日

三芳町長 **林 伊佐雄**

町の木 けやき

町内に多く見られ、四季を通じて情緒があり、発芽の美しさは関東の風物詩になっている。限りなく大きく



育つけやきは、町を象徴するにふさわしいとして、町の木に定められた。

町の花 きく

別名をチギリグサ・モモヨグサなど長寿にちなむ名で呼ばれる。町民の長寿を願うものと、春夏秋冬を見る



ことのできることから町を象徴するにふさわしいとして、町の花に定められた。

町の鳥 ひばり

四季を通じて生息し、古くから我々の生活とはなじみが深い。都市化の進むなかにあって、折に触れその鳴



き声を耳にすると、心のやすらぎを感じ、かつての武蔵野が偲ばれる。